

(施策評価表58)

【施策番号IV-12-①-2】

取組みの 方向性	百年の礎を築く	戦 略	【戦略12】悠久の宝の継承 ～熊本の宝を磨き上げ、引き継いでいきます～	主な施策	◆世界遺産登録をめざす ～世界遺産登録に向けた取組みの推進～
			①くまもとの歴史・文化の磨き上げ、継承		

1 取組内容	2 主な事業 〔上段:H25事業 下段:H24事業〕	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
<p>・ 本県の文化遺産を世界に発信し、人類共通の宝として未来に引き継ぐため、「天草のキリスト教関連遺産」、「旧万田坑・三角西港」、「阿蘇」の世界遺産登録に向けた取組みを推進します。</p>	世界文化遺産登録推進事業	文化企画課	43,273 45,813	<p>・ 天草の資産に特化した学術専門家会議を2回開催し、天草の資産価値を強くアピールした結果、「天草の崎津集落」が「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産に追加され、H25年度の国推薦を目指して、H25年1月に推薦書原案を文化庁に提出。</p> <p>・ 「九州・山口の近代化産業遺産群」を構成する「旧万田坑・三角西港」について、学術調査を進めた結果、国文化財指定が新たに2件実現した。また、各資産毎の管理保全計画を新たに策定するとともに、H25年3月に資産の管理保全のための管理保全協議会を新たに設置。国に提出する推薦書原案についても、九州・山口の関連自治体との連携により検討が加速し、国提出直前の状態にこぎつけた。</p> <p>・ 「阿蘇－火山と共生とその文化的景観」については、世界遺産暫定一覧表への追加記載に向け、学術調査を進めた結果、国文化財指定が新たに2件実現した。</p>	<p>・ 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、推薦書原案の内容精査や推薦に向けた資料作成等を実施する。また、崎津のコアゾーン(資産範囲)における家屋等の保存管理について、管理上の課題抽出や関係機関との調整等を実施する。</p> <p>・ 「九州・山口の近代化産業遺産群」について、管理保全計画を実施するための関係機関との調整等を実施する。また、管理保全上必要な課題(三角西港の重要文化的景観選定、旧万田坑における景観条例制定等)に向けた支援を実施する。</p> <p>・ 「阿蘇」について、重要文化的景観の選定に向け、各種調査・検討を実施する。</p>	<p>・ 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、推薦書原案のさらなる精査が必要。また、資産範囲における保存管理の考え方や、整備活用について整理する必要がある。</p> <p>・ 「九州・山口の近代化産業遺産群」について、三角西港対岸の貯炭場跡の文化財価値精査や重要文化的景観の選定のための取組みが必要。また、旧万田坑も、市景観計画・景観条例等策定により保護措置を強化する必要がある。</p> <p>・ 阿蘇について、国の世界遺産暫定一覧表への追加記載に向けた文化財国指定業務の更なる進捗が必要。また、世界遺産についての地域の理解促進、気運醸成をさらに進める必要がある。</p>	<p>・ 構成資産の国文化財指定数を、現状の11箇所(H25年度現在)から、H27年度までに14箇所を増やす。</p> <p>・ 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」と「九州・山口の近代化産業遺産群」については、H27年度までの世界文化遺産登録を、また「阿蘇」については、H27年度までの国内暫定一覧表入りをめざす。</p>
	主な施策のまとめ			<p>●「天草の崎津集落」が「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産に追加され、H25年度の国推薦を目指し、H25年1月に推薦書案を文化庁に提出。</p> <p>●「近代化産業遺産群」及び「阿蘇」についても、国文化財指定の追加や管理保全計画の策定等、取組みが進捗。</p>	<p>●「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、推薦書原案の内容精査や推薦に向けた資料作成等を実施。また、崎津のコアゾーン(資産範囲)における家屋等の保存管理について、管理上の課題抽出や関係機関との調整等を実施。</p>	<p>●「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、推薦書原案の更なる精査。また、資産範囲における保存管理の考え方や整備活用の整理。</p>	<p>●「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」と「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界文化遺産登録、「阿蘇」の国内暫定一覧表入りをめざした活動の展開。</p>